



平成 18 年 11 月 16 日

各 位

会 社 名 井 関 農 機 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 野 弘 之
コ ー ド 番 号 6 3 1 0
上 場 取 引 所 東 証 第 1 部、大 証 第 1 部
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 其 田 一 美
(T E L . 03-5604-7710)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間 業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

1) 連結中間業績予想 (単位：百万円、%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|--------------------|--------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 79,000 | 3,000 | 2,800 | 1,500 |
| 今回修正予想 (B) | 76,240 | 2,978 | 2,890 | 1,990 |
| 増減額 (B-A) | -2,760 | -22 | 90 | 490 |
| 増減率 | -3.5% | -0.7% | 3.2% | 32.7% |
| 前中間期(平成18年3月期中間)実績 | 79,213 | 3,383 | 3,305 | 1,641 |

2) 個別中間業績予想

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|--------------------|--------|-------|-------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 47,000 | 1,100 | 1,200 | 600 |
| 今回修正予想 (B) | 47,792 | 1,620 | 2,038 | 1,773 |
| 増減額 (B-A) | 792 | 520 | 838 | 1,173 |
| 増減率 | 1.7% | 47.3% | 69.8% | 195.5% |
| 前中間期(平成18年3月期中間)実績 | 47,923 | 1,880 | 2,391 | 1,864 |

2. 平成19年3月期 業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

1) 連結通期業績予想 (単位：百万円、%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------|---------|--------|--------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 164,000 | 6,500 | 6,000 | 3,500 |
| 今回修正予想 (B) | 160,000 | 5,500 | 5,000 | 2,500 |
| 増減額 (B-A) | -4,000 | -1,000 | -1,000 | -1,000 |
| 増減率 | -2.4% | -15.4% | -16.7% | -28.6% |
| 前期(平成18年3月期)実績 | 161,744 | 7,458 | 6,860 | 3,756 |

2) 個別通期業績予想

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------|--------|--------|--------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 94,000 | 2,900 | 3,300 | 2,000 |
| 今回修正予想 (B) | 91,000 | 1,900 | 2,300 | 1,900 |
| 増減額 (B-A) | -3,000 | -1,000 | -1,000 | -100 |
| 増減率 | -3.2% | -34.5% | -30.3% | -5.0% |
| 前期(平成18年3月期)実績 | 93,759 | 3,131 | 3,820 | 3,898 |

3. 修正の理由

1) 連結中間業績予想

売上高は、主に国内農機市場が低調に推移し、国内売上高が当初の予想を下回りました。営業利益及び経常利益は、売上減少による粗利益の減少を販管費等の圧縮で吸収し、ほぼ当初予想通りとなりました。中間純利益は、税負担の減少により、当初予想を上回りました。

2) 連結通期業績予想

(1) 売上高

- ・国内農機市場は、引続き厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、当社は積極的に新商品を投入し、農機売上の確保に努めますが、補修部品などの売上は減少する見込みです。
- ・一方、輸出については、北米取引先の在庫政策の変更により、従来出荷が集中していた第4四半期が平準化され、平成19年1～3月の売上高が当初業績予想から減少する見通しです。

(2) 営業利益～当期純利益

- ・収益面については、売上高の減少に伴う粗利減に加え、在庫圧縮を図るための生産調整を実施すること等の理由により、当初業績予想から減益となる見通しです。

以上